

みずほCustomer Desk Report 2019/02/04 号(As of 2019/02/01)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.91
TKY 9:00AM	108.85	1.1448	124.61	GBP/USD	1.3110
SYD-NY High	109.58	1.1488	125.73	AUD/USD	0.7273
SYD-NY Low	108.73	1.1434	124.39		1.3113
NY 5:00 PM	109.49	1.1453	125.43		1.3044
					0.7237
NY DOW	25,063.89	64.22	日本2年債	-0.1800	▲1.00bp
NASDAQ	7,263.87	▲17.87	日本10年債	-0.0200	▲2.00bp
S&P	2,706.53	2.43	米国2年債	2.5050	4.33bp
日経平均	20,788.39	14.90	米国5年債	2.5025	6.34bp
TOPIX	1,564.63	▲2.86	米国10年債	2.6833	5.14bp
シカゴ日経先物	20,805.00	▲30.00	独10年債	0.1640	1.60bp
ロンドンFT	7,020.22	51.37	英10年債	1.2465	2.85bp
DAX	11,180.66	7.56	豪10年債	2.2060	▲2.40bp
ハンセン指数	27,930.74	▲11.73	USDJPY 1M Vol	6.27	▲0.48%
上海総合	2,618.23	33.66	USDJPY 3M Vol	6.92	▲0.33%
NY金	1,322.10	▲3.10	USDJPY 6M Vol	7.48	▲0.27%
WTI	55.26	1.47	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	180.55	0.91	EURJPY 3M Vol	7.52	▲0.23%
ドルインデックス	95.58	0.00	EURJPY 6M Vol	8.03	▲0.20%

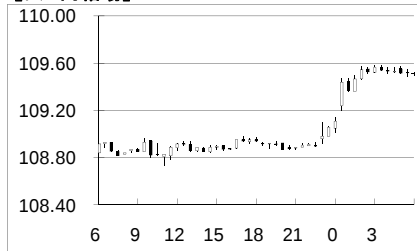
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月1日	10:45	中 CaixinPMI(製造業/コンポジット/サービス業)	1月 48.3/50.9/53.6	49.6/-/53.4
	18:30	英 マークイット製造業PMI	1月 52.8	53.5
	19:00	欧 CPI速報値(前年比)	1月 1.4%	1.4%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	1月 304k	165k
	22:30	米 失業率	1月 4.0%	3.9%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	1月 0.1%/3.2%	0.3%/3.2%
	23:45	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演「FRBは政策金利に関して当面行動しないことを推奨」		
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	1月 54.9	54.9
2月2日	00:00	米 ISM製造業景況指数	1月 56.6	54.0
	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	1月 91.2	90.7

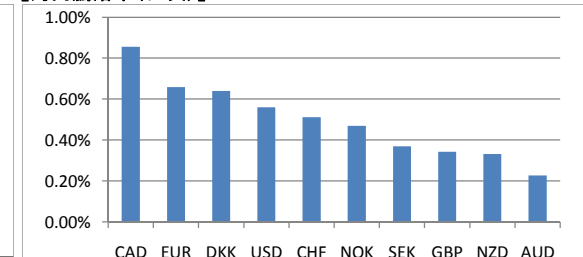
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月4日	18:30	英 マークイット建設業PMI	1月 52.5	52.8
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	12月 -0.5%/3.1%	-0.3%/4.0%
2月5日	00:00	米 製造業受注(前月比)	11月 0.3%	-2.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-109.90	1.1400-1.1500	124.50-126.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日海外時間のドル/円相場は上昇する展開となった。米1月雇用統計において非農業部門雇用者数変化が市場予想を大きく上回ったこと等からドル買いが強まり109円台を回復すると、続いて発表された米1月ISM製造業景況指数や1月ミシガン大学消費者マインド指数の良好な結果を受け109円台半ばまで上昇。一時109.58まで上昇する展開となった。本日のドル/円相場は方向感に乏しい推移を予想。金曜日の米1月雇用統計の結果は良好ではあったものの、足元で大きく低下している米利上げ期待が回復することは難しく、ドル買いの流れは長続きするものではないと考えている。一方で、米国経済に対する過度に悲観的な見方は後退したことで一方的なドル売りも想定しづらく、本日については方向感に欠ける推移を予想する。

東京	東京時間、108.85レベルで取引を開始したドル円は108.96まで上昇後、日本や中国等のアジア株が全般的に下落する中、ドル円は108.73まで反落。しかし同水準では国内勢の買い意欲が強かったことから再度上昇に反転するも、米1月雇用統計を控えていることから小幅なレンジでの値動きとなり、108.87レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は108.87レベルでオープン。米中通商協議の継続は好感されたが、中国側から出てきた米農産物やエネルギー輸入の拡大は既に織り込み済みで、材料出尽くし感が強く、米雇用統計前の様子見ムードの展開。中国PMIの悪化で景気減速が裏付けられ、ドル円の値上がりが抑えられた一方、日銀買いオペ運営方針が据え置き等を背景に長期金利がマイナス幅を深めたことから、下値追いつもしく、結局、小幅レンジを推移。108.90レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3099レベルでオープン。英1月製造業購買担当者景気指数(PMI)が3ヵ月ぶりの低水準となる。52.8(予想:53.5、前月:54.2)に低下すると、安値1.3044まで下落し、1.3055レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は米1月雇用統計の結果発表を控え、狭いレンジでの推移となり、108.90レベルでNYオープン。NY朝方発表の米1月雇用統計では非農業部門雇用者数変化が大幅に予想を上回るが、前回分が下方修正されたほか、平均時給が予想を下回り、失業率が予想を上回った。政府閉鎖の影響も覗いたが、総じて労働市場は底堅いとの見方が強まる中、ドル円は小幅に上昇し109円台を回復。さらにNY時間10時に発表された米1月ISM製造業景況指数や1月ミシガン大学消費者マインド指数が予想を上回ったことから109.47まで上昇する。その後、カプラン・ダラス連銀総裁が「FRBは政策金利に関して当面行動しないことを推奨」とのヘッドラインが流れ、ドルが売られ109.36まで反落。NY午後は米金利の上昇にサポートされ、高値109.58まで上昇。NY終盤は週末を控え小動きとなり、109.49レベルでクローズ。一方、海外時間のユーロドルは1.1474まで上昇し、1.1469レベルでNYオープン。NY朝方は米1月雇用統計結果発表後に上下する場面も見られたが、10時に発表された米経済指標が予想を上回り、ドル買いが強まったことで1.1448まで下落する。その後、カプラン・ダラス連銀総裁のハ派なコメントに1.1488まで反発するが、米金利の上昇を受けて、結局1.1453でクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 森谷・田家